

専門演習Ⅰ（3年次）中村 秀郷（ナカムラ ヒデサト）ゼミ

担当科目	司法福祉論、精神保健福祉論ⅠⅡⅢ、 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ、精神科リハビリテーション学Ⅱほか
専門演習テーマ	<p>司法福祉、精神保健福祉</p> <p><キーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 刑事司法と福祉、保護観察、医療観察、精神障害、依存症、リハビリテーション ・ 犯罪・非行、触法精神障害者、累犯障害者、高齢犯罪者、犯罪被害者 ・ ソーシャルワーク、ストレングス、エンパワメント、ナラティブ
専門演習内容	<p><専門演習Ⅰ・Ⅱについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3年後期（専門演習Ⅰ）は、自身の関心を明確化し、卒業論文の構想発表及び研究計画書作成を目標とします。 ・ 4年次（専門演習Ⅱ）は、研究・論文指導を中心に行い、10月末卒論完成を目指します。また、ゼミ生による国家試験等に向けた継続的なピア学習を検討します。 <p><ゼミ内容について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゼミ生が関心のあるテーマに沿って、文献を読み、グループディスカッション、課題のプレゼンテーションを通してテーマの理解を深めます。 ・ チーム作業として、グループで文献収集やフィールド調査（ソーシャルワーカー等へのヒアリングなど）を行い、報告発表によりゼミ全体で共有をします。 ・ 卒論に向けた学習（ピアレビューや添削指導、文献レビューや調査分析方法の学習など）を行います。 ・ 他にも刑事裁判の傍聴、福祉施設や医療機関及び少年院や刑務所等の見学、ボランティア及び当事者の集まりへの参加など、ゼミ生の提案・企画を随時検討します。
卒業論文	<p>卒業論文またはゼミ論文の作成を必須とします。</p> <p>* 卒論・ゼミ論では、ゼミ生各自がフィールド調査に取り組むことを原則とします。</p>
ゼミの選考方法	<p>「専門演習一次申込書」に「志望理由書」を添付して提出してください。</p> <p>志望理由書は、A4用紙1枚程度に、①ゼミ志望理由、②関心のある研究テーマとその内容、③希望進路、④ゼミでやりたいこと、⑤ゼミで発揮できる個性・能力、などをアピールしてください。また、申込段階で卒論のイメージができている方は、⑥卒論概要（テーマ、研究の目的・方法、今後の調査計画、期待される成果など）を追記してください（*⑥は任意です。⑥の内容・形式・字数は自由とします。）。</p>
学生への要望	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上記専門演習テーマ<キーワード>にピンと来た方、関心のある方を募ります。 ・ ゼミ運営はメンバーで役割分担して行います。みんなでゼミを作り上げるためにも積極的な発言（ディスカッション）・企画行動（フィールドワーク）を求めます。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゼミ内容や進め方はメンバーで話し合っ決めてみましょう。 ・ 国家試験・採用試験合格など各自の目標をみんなで協力して目指しましょう。 ・ ゼミを通して、仲間と共に考え、協力し、成長していくことを期待します。
ゼミ申込みの手続きについての指示	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不明な点や質問等は、教務課（担当：山本様 m-yamamo@seinan-gu.ac.jp）に連絡をして下さい。